■見出しの二次元コードを読み取ると
イベントの様子を動画でも見ることができます。

#ちくしknow

#Chikushiknow

10/17



受け継ぐ舞、息づく伝統

山家岩戸神楽

山家宝満宮に伝わる山家岩戸神楽は、室町時代から続く伝統芸能として、市の無形民俗文化財に指定され、今年で50年を迎えました。今年も10月17日に五穀豊穣を感謝して延べ100人以上の観客の前で面をつけた舞や鈴を用いた舞が奉納されました。客席に水をまく「荒振神」や、子どもの健やかな成長を願う「問答鬼」など、保存会と地域の人々が守り継ぎ、山家の歴史と文化を伝えていました。



抱っこに込める、健やかな成長への願い

10/5

全国の舞台で躍動！



空手道拳志会　市長表敬訪問

二日市北小学校などで活動している空手道拳志会に所属する７人が、「第40回全日本硬式空手道選手権大会」で入賞し、平井市長へ結果を報告しました。市長との懇談の中で、選手たちは大会を振り返り、入賞した喜びや全国大会を通して感じたことを報告し、今後の目標を語りました。市長から激励を受けた選手たちは、さらなる成長と活躍への意気込みを見せました。



小学３年生から高校２年生まで幅広い年代の選手が活躍しました

10/17

五郎山の夜を彩る幽玄な灯



五郎山灯ろうまつり

筑紫南コミュニティ運営協議会による五郎山灯ろうまつりが開催され、紙や竹などでつくられた個性豊かな約1500点の灯ろうの光が五郎山公園を照らしました。約2200人の人が訪れ、一夜限りの美しさを楽しみました。当日は、五郎山古墳石室の特別公開も行われました。灯ろうの光に導かれて訪れた人たちは五郎山古墳館で、五郎山古墳の魅力や歴史に触れ、学びました。



五郎山古墳を月と灯ろうが幻想的に照らしました

10/13

女性消防団が園児たちに伝える命を守る行動



女性消防団による防災講座

女性消防団員が下見保育所を訪れ、園児たちにさまざまな災害が発生した際の避難方法を伝えました。団員自らが園児役になり、災害時に取るべき行動や避難する際の注意点を、楽しく分かりやすいクイズで紹介しました。園児たちは笑顔を見せながら、もしものときに自分の命を守るためにどう行動すればよいか学びました。



楽しく防災の知識を学べる時間となりました

10/21

地域で支え合い、安心して暮らせるまちへ

筑紫野市民生委員・児童委員連合会とまちづくり座談会を開催

地域住民の暮らしを支える民生委員・児童委員の皆さんと「支え合う地域づくり」をテーマにまちづくり座談会を開催しました。座談会では、地域の見守り活動の内容や民生委員の負担軽減など、日ごろの活動で感じている課題について意見がありました。また、各地区での支え合いの取り組みが紹介され、自治会やコミュニティ運営協議会、行政との連携について話し合い、だれもが安心して暮らせる地域づくりへの思いを共有しました。



▶まちづくり座談会の内容は、市ホームページでも紹介しています。



平井市長と民生委員・児童委員の皆さん


活動での気付きが共有されました

10/19

筑紫野市の未来をともに考え、新たな挑戦へ

つくし青年会議所とまちづくり座談会を開催

2030年に筑紫野市はどんなまちでありたいかをテーマに、つくし青年会議所の皆さんとまちづくり座談会を開催しました。筑紫野市を観光の目的地とするための取り組みや若者が新たな事業に挑戦できる環境づくり、意欲ある人材がつながるコミュニティの形成、企業と行政の連携による地域課題の解決など、さまざまな提案がありました。また、つくし青年会議所の活動や今後の連携についても話し合い、地域の活性化と筑紫野市の未来に向けてそれぞれの立場から意見を交わしました。



平井市長とつくし青年会議所の皆さん


活発に意見が交わされました

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎(923)1111 にお願いします。

10/22

ベストスコア74 努力を楽しむ



松山 光里選手 市長表敬

7月に開催された「ゴルフダイジェストジャパンジュニアカップ」で全国11位に入賞した松山 光里選手（原田小学校４年生）が平井市長を訪れました。松山選手は小学校入学の少し前からゴルフを始めました。前大会で力を出し切れなかった悔しさをバネに、努力を重ね、今大会では緊張せずに結果を出すことができたという松山選手は、「マナーがよく、あきらめず攻めていく選手になりたいです」と話しました。



遠征の移動日以外、ゴルフクラブに触らない日はありません

10/19

めざすは グランドスラム優勝！



全国の舞台で準優勝の栄光に輝く

山家在住の笹木 舞選手（柳川高校１年生）が「ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権大会2026」に出場し、U16女子シングルスで準優勝を果たしたことを平井市長に報告しました。笹木選手は、１日４時間以上の練習に励む一方、月の半分ほどを遠征に充て、海外などで試合に臨んでいます。将来の目標を、「筑紫野市から世界へ羽ばたき、グランドスラムで優勝することです」と力強く語ってくれました。



終始笑顔で和やかに懇談しました

10/24



憧れのプロの 前座で全力プレー

ライジングゼファーフクオカ　筑紫野市応援デー

市とフレンドリータウン協定を結んでいるライジングゼファーフクオカの試合が、筑紫野市応援デーとして開催されました。試合に先立ち、市内のミニバスケットボールチームに所属する小学生が、プロと同じコートで前座試合を行い、貴重な経験をしました。また、プロの試合には招待された市民約500人を含む観客が熱い声援を送り、ライジングゼファーフクオカは見事勝利を収めました。



憧れのプロの試合前に同じコートでプレーしました

10/21

プロの選手を 身近に感じて応援



アビスパ福岡 筑紫野市応援デー

プロサッカーチーム、アビスパ福岡の10月21日㈫の試合は筑紫野市応援デーとして開催されました。ボールパーソンを筑紫高校サッカー部が、ピッチ中央で大きなフラッグを掲げて選手入場を迎えるセンターサークルシートベアラーを筑紫野南中学校サッカー部が担いました。また、市内在住の小学生がエスコートキッズを務め、プロサッカーの空気を体感する良い機会となりました。



憧れのプロ選手たちと一緒に記念撮影